

税金の使い道はどのように決められるのだろう?

税金の使い道は
どのように決められて
いるのか?

ぜいむさんは、左のようにまなぶさんとよし子さんに話しました。「住民の願いをかなえるために、どれだけの税金を何に使うのか、どうやって決めているのか?」「簡単な話し合いで決めているとは思えないけれど…」と、二人も分からぬようです。

そこで、「税金の使い道はどのようにして決めるのか」そのなぞを調べることにしました。

国民

公共施設の整備・公共サービスなどの提供

国会

選挙

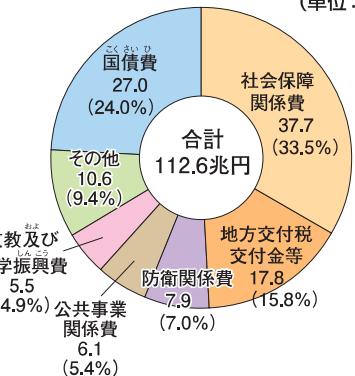
税務署

納税

納税の義務

「国民は、法律にもとづいて、税金を納める義務があります。」(憲法第30条)

令和6年度 国の一般会計当初予算(歳出)
(単位:兆円)



内閣

予算案の提出と審議

税金の使い道は、
このようにわたしたちの代表の
話し合いによって
決められているんだね!

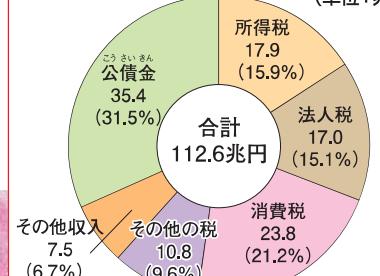
結局は、わたしたち国民が
税金の使い道を
決めているんだね。

税金の使い道は、
国民の代表が国会で!

国の収入の多くは、国民が納める税金だよ。国は、わたしたちの生活を豊かにするために税金を使っているんだね。

内閣は、1年間どれくらいの収入があるのか、それをどのようにして使うのかという予算案を立て、国会に提出するんだ。そして、国民の代表が集まる国会で話し合って、税金の使い道が決まるんだよ。

令和6年度 国の一般会計当初予算(歳入)
(単位:兆円)



●北海道や市町村の予算の決め方

北海道や市町村では、選挙で選ばれた道民・市町村民の代表が集まる道議会・市町村議会で話し合われています。

